

「勉強会」

勉強会の内容 と趣旨	<p>勉強会では、ただ講義を聞くのではなく、「グループワーク」を入れながら、参加しているメンバーの理解度、感想なども対話を通して共有を図りながら進めます。</p> <p>同じ内容を聞いていても、人によって「捉え方」や「理解度」が違います。「わかったこと」や「わからないこと」もきちんとみんなで共有することで、何が課題なのか、何かできるのかを考えていきます。</p>
勉強会テーマ 「他の団体を知ろう」	<p>「公園で子どもたちを見守る活動」 講師：もっと遊べる五丁目公園の会 廣川 和徳 氏</p> <p>これまでの話し合いで子どもたちが公園で遊ぶ姿が多く見られていることから、公園での取り組みにピックアップすることにしました。大田区では「ふれあいパーク活動」という制度があり、地域の自治会・町会やNPO、企業などが、公園を“地域の庭”として清掃活動やイベント等に取り組む活動があります。そこで、ふれあいパーク活動に取り組みながら、公園で子どもたちのあそびの場をつくる「プレイパーク活動」にも取り組む「もっと遊べる五丁目公園の会」の廣川氏を迎えて、活動を通して、子どもたちのどんな様子に気づくのかなど、公園での可能性について学びました。</p>

勉強会の様子



<p>グループワーク 「講義を聞いての感想」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもは自由な体験からいろんなことを学ぶと思い出しました。 ● 適度な大人の見守りの中で、子どもが「自分の責任で自由に遊ぶ」プレーパークは、子どもの育ちにとってとても大切だと思いました。 ● 親世代へのあそびの大切さ（危険を察知する、工夫する、異年齢のふれあい）を伝えていく必要があると思った。 ● 大人がどこまで手を出してよいか悩むことがあるので、プレーパークの場は大人も勉強になると思う。 ● 今日話を聞いて改めて大田区でももっとプレーパークが増えたらいいなと思いました。 ● 車椅子の子や介助のいる子たちも遊べたらすてきだと思いました。 ● 六郷地区にもできたらと思います。 ● 行政の視点だけではできない地域の力で出来る取り組みだと思った。 ● 活動を継続していく大変さがもっとあるのではないかと思うので行政の支援がもっとあってもいいのではないかと思った。 ● いろんな禁止事項が増えている今、子どもの成長が見えづらくなっていると思ったので、一緒に何かお手伝いできればと思った。 ● 子どもを自由に遊ばせたいと思うが、やはり今の時代は、ケガや事故への担保を考えなくてはいけない時代なので難しいと思った。
<p>グループワーク 「来年度の勉強会について」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 望む姿と実情が開きすぎている気がするので本当にできるかと思ってしまう。 ● もっとリアルな実情（深い話）を知りたい。 ● 話していると何かやりたくなるので、やりながら考えていく。 ● 1月のシミュレーションで話したプランを実現したい。 ● 実際にやるのが大事なのではないか。 ● それぞれの立場で得た実態を話してもらおう。 ● 思うようにいかないジレンマもあるが、小さなことから実現できたら。 ● ここにきていない地域の方の声がわからないので、もっと声かけしていく必要があるのでは？
<p>次回は、平成31年3月5日（火） 「話し合いの場」です。 18時30分から20時30分まで 会場は、六郷地域力推進センター4階会議室です。 今年度の取り組みを総括しながら、来年度の具体的な取り組みについて考えます。お待ちしております。</p>	